

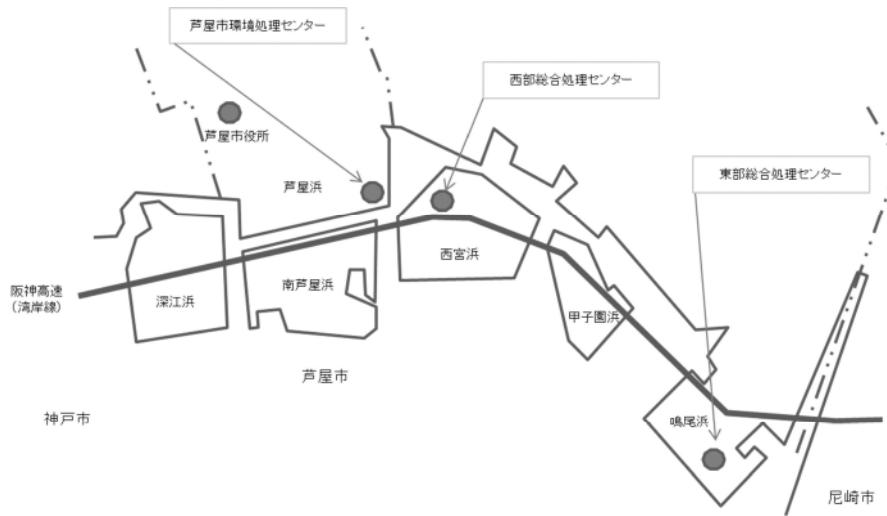
西宮市とのごみ処理広域化について

広域化の背景

- ごみ処理の広域化によりコスト縮減と環境負荷の低減が図れる。

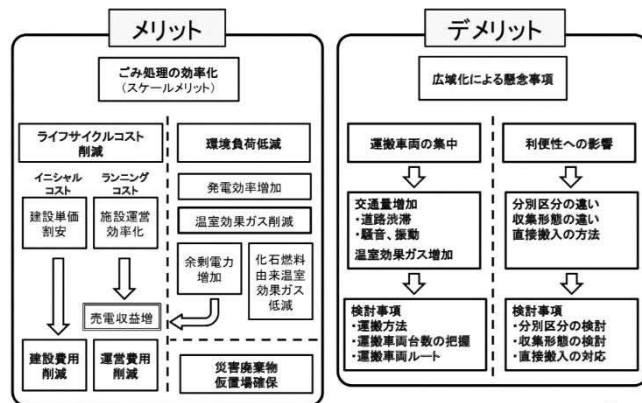
現状

- 施設の老朽化に伴う建替時期が近い、芦屋市の環境処理センター（焼却施設と資源化施設）と、西宮市の西部総合処理センター（焼却施設）及び東部総合処理センター（破碎選別施設）が広域化の検討対象施設
- 昨年4月より芦屋・西宮両市でのごみ処理広域化検討会議を開催（継続中）
- まだ広域化が決定した訳でなく各自が処理センターの自前建替えも選択肢として残る



検討会議での協議・検討事項

- 基本項目(基礎データの確認・広域処理の開始時期・広域処理の行う事務内容・広域処理の対象となるゴミ種別・施設の設置場所・規模・処理方法)
- メリット・デメリットの検討
- 広域処理の運営方針
- 広域処理に係る両市の費用負担
- 協議スケジュール・その他



課題

- 西宮市とのごみ処理広域化検討会議の結論がまだまだ不透明
- 市民としては分別収集の違いが今後どうなるか
- 広域処理の考えが不調に終わった場合の対応